



# 市制施行120周年

## 新たな飛躍の年に 佐世保市長 朝長 則男



明けましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えることと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の第3波が年明けから拡大し、ゴールデンウィーク前後の第4波、そして東京2020オリンピック開催前後から秋口にかけての第5波は全国的に猛威を振り、かつてない感染拡大に大変な危機感を抱きました。しかしながら、春ごろから始まったワクチン接種や市民の皆さまのご協力のおかげで、秋に入り急速に収束へ向かったことは、大変喜ばしいことでありました。

この間、医療関係者をはじめ市民の皆さまには、外出自粛や行動制限に加えてワクチン接種などにご協力いただき、誠にありがとうございました。また、経済活動も制限を受け、特に観光関係事業者や飲食関係事業者などの皆さまのご苦勞は、言葉ではとても表現できないほど厳しいものがありました。本市としても、経済へのダメージを最小限に抑えるため、国や県と役割を分担し、数次にわたる経済対策を実施するなどの対応を図りました。

年末には、国による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済活動の両立に向けた事業規模78・9兆円の経済対策が策定され、歳出総額35・9兆円に上る過去最大の国の補正予算が決定しました。本市としても、1日も早い経済の回復を目指し、国の補正予算を活用しながら、さまざまな対策を実施していきます。さて、本市はことし市制施行120

周年の記念の年を迎えます。

令和2年度からスタートした「第7次佐世保市総合計画」を着実に推進しつつ、まずは昨年末から開始している3回目のワクチン接種を順次進めるなど、第6波への対策に努めてまいります。

そして、中長期的視野で進めている重要施策「8つのリーディングプロジェクト」にもより一層力を入れてまいります。「名切地区再整備」については、中央公園をリニューアルし、子どもの屋内遊び場をはじめとするいくつもの施設を本年4月から供用開始します。

「特定複合観光施設（IR）」については、長崎県と設置運営事業予定者として決定した「カジノオーストリアインターナショナルジャパン」が区域整備計画を作成し、4月までに長崎県が国へ区域認定の申請を行います。おそらく、本年秋季から年末にかけて、国による決定が行われるものと期待しています。

また、石木ダム建設については、長崎県と協力して進捗を図ります。

さらに、昨年から推進しているDX（デジタル・トランスフォーメーション）については、書類への押印廃止やオンライン申請、マイナンバーカードの普及、市立学校におけるデジタル化などに取り組みむ他、ポストコロナ時代を踏まえたちづくり分野のDXなども進めながら、市民一人一人に寄り添った「行政サービスの変革」を目指します。

加えて、地域コミュニティ活動の充実を図るため、地域活動の拠点となるコミュニティセンターのさらなる活用を進めてまいります。

先に挙げた事業以外にも、「市民第一主義」を基本にさまざまな事業を推進してまいりますので、市民の皆さまのさらなるご指導とご支援を賜りますよう、よろしく願います。

結びに、市民の皆さまのますますのご健勝とご多幸をお祈りいたしますとともに、市制施行120周年の年が本市にとって新たな飛躍の年になりますよう全力でまい進することを誓い申し上げます。そして、新年のごあいさついたします。

「クルーズ船入港体制整備」については、令和2年に浦頭地区の旅客ターミナル「佐世保クルーズセンター」が完成しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、外航クルーズ船の受け入れには、今しばらく時間を要することになりました。当面、国内クルーズ船の受け入れを三浦地区において積極的に行ってまいります。また、5月には、多くの全国港湾関係者が集う「日本港湾協会定時総会」が本市で開催されますので、国際クルーズ拠点港として佐世保港を全国にアピールしてまいりたいと思います。

「俵ヶ浦半島開発」については、昨年一部供用を開始した「九十九島観光公園」からの美しく雄大な景観への人気や評価が高いことから、本格的な活用に向けて官民連携手法の導入を含め具体的な検討を進めてまいります。

「基地との共存共生」については、自衛隊による周辺地区の利活用が具体的に進んでまいりますので、地域の交通環境の改善に役立つ「前畑崎辺道路」の建設工事をさらに推進し、早期完成を目指します。また、米海軍佐世保弾薬補給所（前畑弾薬庫）を針尾島弾薬集積所に移設するた

めの工事用道路建設については、現地調査から次のステップに進めるよう、引き続き国に働き掛けてまいります。

「企業立地・誘致」活動については、コロナ禍で厳しい状況が続く中ではありませんが、市内中心部へのオフィス系企業の誘致や規模拡大による雇用創出が順調に進んでおり、「佐世保相浦工業団地」についても企業の動きを見ながら有望企業の誘致に努めてまいります。

「英語が話せる街 佐世保」一世界で最も美しい湾クラブ加盟の九十九島・世界文化遺産（黒島の集落）・日本遺産（佐世保鎮守府・三川内焼）の活用については、市民の皆さまの認識を高めつつ、その取り組みや魅力をメディアやSNSを通じて全世界に発信するとともに、佐世保観光コンベンション協会などと連携し、観光資源や本市の国際色豊かな魅力にさらなる磨きをかけてまいります。

この他にも、西九州自動車道の佐々木〜佐世保大塔IC間の4車線化工事や西九州自動車道の佐々木〜松浦IC間の工事については、NEXCO西日本や国土交通省と協力し、早期完成を目指していきます。